

まめってえ通信

第17号

平成23年8月1日
発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
まめってえ鬼無里

まめってえ鬼無里 今後のスケジュール

- ・8/23(火)石釜づくり体験
- ・8/27(土)午後2時～大出副理事長ヴェルフエンヴェング視察研修報告会
鬼無里活性化センター

今年に4回行うわけ

6月4日、きなさのごはん春のランチ会を開催しました。参加者数は10組で、スタッフを合わせて総勢37名が会場に集まりました。

今回は「夏野菜の植え付け」をメインに行い、「夏のランチ会」でおいしいカレーを作ろうと、なす・とまと・きゅうりなどを会場となった理事長宅の目の前の畑に植え、ランチ会では「春の山菜」をふんだんに使ったお料理が並びました。今回はお料理を用意し

てしまいました。が、やっぱり食を考えるには自分で作った方が実感がわくんだな...ということがわかったので、次回からはちゃんど料理実習も入れるつもりです。

きなさのごはんを年に4回やるのは、春夏秋冬と季節が巡るからです。その季節の旬を味わっていたら、その季節ならではの体験をしていただきたいからです。



チエンソー

講習会開催

さる7月8日(金)午前9時より、西京地籍の杉山で里山くらぶ・チエンソー技術講習会が開催されました。講師に長野地方事務所・林務課 岩間指導員を迎えて、地区内外より12名が参加して、行われました。チエンソーの毎日の点検の仕方や目立ての方法といった基本を、指導いただいた後、実際に立ち木を伐

てみました。伐倒作業を安全に行うための指導を受け、自分たちの思った方向に木が倒れた時は、思わず拍手が起りました。里山くらぶの事業は、これから薪づくりが本格的に始まりますが、今回の講習会で学んだことを忘れずに、安全に作業したいと考えています。



9月イベント(他団体主催)※は要申し込み

- 9/17 ※奥裾花自然環境学習会
＜奥裾花溪谷を歩く＞
- 9/25 きなさ市＜味噌汁のふるまいあり＞
- 9/25 ※料理講習会 ￥500
＜おやき＞先着 20名 10:00～

鬼無里サポーター 高木朗義<岐阜大教授>の「アンケートを読み解く!!」その2

実は、このアンケート調査で最も興味深かった結果は、「何回も訪れたい魅力的な鬼無里にするためには、何が重要だと思いますか?」という質問に対する自由回答です。167人中、46人が「このままでいい」と回答しています。その中でも「自然を残す」、「自然を大切にすること」、「自然をそのままに」、「自然の保護」といった鬼無里のすばらしい「自然」を守ってほしいという意見が大変多く寄せられました。また「このままで十分魅力的」、「観光地過ぎるのもよくない」という声も聞かれました。改めて鬼無里の魅力が何なのかを知ることができたような気がします。さらに「ほっとする」、「のんびり」、「季節感を感じられる」というコメントもありました。鬼無里の人達は「鬼無里には何にも無い」と言いますが、それが良いということですね。

経済的な豊かさを求め続けてきた日本は、東日本大震災を契機に今まさに変わろうとしています。経済的な豊かさでない豊かさ、例えば、安らげるとか、落ち着けるとか、癒されるとか、日本人が忘れかけていたものの大切さに気がつき始めているような気がします。こんなことを感じられるのが鬼無里ではないでしょうか。私は、大日方理事長が言われた「太陽の恵みで暮らす!」をととても気に入っています。山、森、川、これらを上手に利用して、自然と共に暮らすことを目指していけば、もっとすてきな鬼無里になるのは間違いありません。

私が気に入った一押しのお返事は「目立たない観光地化」です。うまい言い方だと思いませんか? また、「鬼無里の物語や民話を知りたい」とか「山菜をもっと食べたい」という回答もありました。「農家民泊」に興味がある人が40%もいました。もうちょっとだけ鬼無里らしさを売りにして、適度に稼いで、鬼無里で暮らしたい人が鬼無里で暮らせるように、そして鬼無里という地域が鬼無里らしい地域でい続けられたらいいなあと思っています。

みなさんも一緒に、鬼無里らしい魅力で鬼無里ファンをもう少し増やしていきませんか?

<いろは堂ギャラリー情報> <http://www.irohado.com/> 火曜日定休 5・8・10月は無休
2Fギャラリー 8/24~9/12 千坂経悦 陶芸 9/14~10/3 寺口三太 洋画 1Fサロン <8月> 樋熊 鬼瓦展(陶芸)